

学校の文書作成等ソフトが、一新された。互換性は高いと聞いたが、（おっ！そうきたか！）というところがある。面倒だけれども新鮮▼9月になって迎えていた教育実習生。担当教諭が実習記録等関係書類一式をまとめ、決裁が回ってきた。実習生が毎日綴った実習記録をまとめて読んだ。2人合わせて、A4約50枚分、すべて手書きですき間なく綴られている▼その記録は、一日現場で過ごし、子どもの事実、本校の先生方の指導の事実とともに、実習生の気持ちが生き生きと綴られている。実習生にとっては、はじめての現場、何事も新鮮だったに違いない▼子どもと教職員が日々積み上げている日常が、実習生の言葉によって鮮やかに再現されているその記録は、われわれにとっては、原点回帰でもある▼全体の実習を終えた感想の一文「この教育実習という期間に多くの失敗を経験できたことは大きな収穫であった。この経験を原点として、常に学び続ける教師をめざしたい。」▼「教師という仕事の大変さと同時に、やりがいを強く実感しました。子どもたちが、授業が楽しかったと言ってくれた時は、胸がいっぱいになるほど嬉しく、大きなやりがいを感じました。そして、子どもの存在そのものが私の大きな原動力だと思いました。」▼教育にかける情熱と柔らかな眼と心を持つあなたのおかげで、わたしたちは、新鮮な気持ちになれました。